

KSKP BUG^{バグ} No 67

発行人／関西障害者定期刊行物協会

〒543-0015大阪市天王寺区真田山町2-2

東興ビル4F

編集人／〒601-8036 京都市南区東九条松田町62

NPO法人日本自立生活センターワークス共同作業所

TEL (075) 682-3201

FAX (075) 682-3330

<http://kyoto-j-works.com/>

Eメール saba@mediawars.ne.jp

編集責任者 大崎雅彦

春陽にふわり、風ひとつ。

目次

特集

新年度に向けて 大崎雅彦 2

新年の抱負 ～ひと言つぶやきました～ 3

第28回国際障害者年連続シンポジウム報告 4

連載

広がれワークスの輪「花のモリシタ」 5

イラストーク 2014 6

イベント報告 7

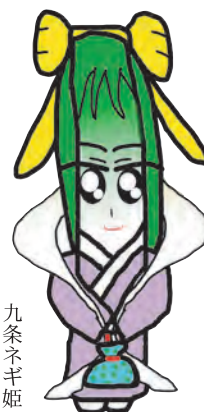
連載・ワークスリレー・エッセイ・自立生活と私 8

NAKAJIMA'S EYES 「お酒」 9

あしあと&あとがき 10

一期一会

書／小松満雄



九条ネギ姫

新年度に向けて

ワークス共同作業所所長 大 崎 雅 彦

次のステージを作ってほしい

2014年、日本自立生活センターは大きな節目を迎えます。ワークスは18年目に突入です。ついこの前15周年の記念誌を完成させたところですが時は流れ流れて、松田町に来てからでもこの春で丸8年です。

私が日本自立生活センターと出会ったのが「サンフランシスコヘリフト付き路線バスに乗りに行こう」のツアーに参加したのが始まりです。今はもう、たとえば京都では路線バスに車いす使用者が乗ることが普通？に近くなりました。移動に関して肢体障害の人は相当に動きやすくなり表面的には大きく改善されました。

しかしここからが本当のスタートです。物理的にバリアフリーが進んだだけで、それ以外はほとんど変化ない、どこか後退しているという人さえいます。車いすと仲間の会が活動を始めて40年の節目を迎え自由(近く)動けるようになった今こそ次世代の障害者、貴方が次のステージを作ってほしいです。ワークス共同作業所はその一助となれればいいです。そして若い元気なワークスになれるよう、私も含めて若くない人も一緒に若くならう。

貴方、貴女、一般就労ばかり目指している場合ではないのです。

2014年春

年頭にあって ワークス共同作業所新年茶話会を、去る1月31日(金)に
多文化ネットワークセンターで行いました。





ワークス共同作業所 所員&スタッフの

2014 新年の抱負

ひと言つぶやきました

体調に気を付けて、いつまでも続けて作業所に通えるようにしたいです。

伊藤

今年もいつものように、体を気を付けてワークスと聖林院に通います。

椿森

あまり力仕事はできませんが、今年もよろしくお願いします。

梅谷

自分の出来る範囲でみんなのサポートができればと思います。

山中

今年の抱負と言っても毎年変わらないのですが、どうしてもやはり休まずに通所する事をいつもとかわらず毎年あげさせて頂きたいと思います。

本当に休まずに通所と言うのは簡単な目標のようですが、実際に1年間休まないというのは意外に大変です。

当たり前のような事を当たり前にこなすというのを大事にこなしていきたいです。

そして作業面では少し前からしているのですが、イラストレーターをもっと今以上に出来るようにしたいです。(今以上と言っても今があまり出来ていない状況ですが・・・) イラストレーターをしていると出てくるフォトショッブも同時にできるようにしていきたいと思います。

門野

今年はみんなと相談しながら丁寧に仕事をしたいです。

藤原

春だから・・・カレンダーをどうぞ。

2014 ワークスオリジナルカレンダー

- ・A3判ポスタータイプ
- ・A4判壁掛けタイプ
- ・はがき卓上タイプ

プレゼントにも

・・・



それぞれにオリジナルの書やかわいいイラスト、
開運パワースポットのイラスト入り

名刺はワークスへ

テンプレート

名刺

10枚

200円

10枚からでも質の高い
名刺をお作り致します

ビックリする程 **新**しく生まれ変わるよ

テンプレート名刺ページ内のサンプルからのご注文の場合
初回に限り必要の版代500円が不要です！
先ずはワークスのHPをご覧ください。

ご注文はワークスまで

TEL:075-682-3201 FAX:075-682-3330

2014 新年の抱負 ひと言つぶやきました

今年の抱負は、「ぼちぼちと」「ほどほどに」
そして「有言実行」です。

今年もよろしくお願いします。 Demi.N

新しいことにチャレンジしたいです。
八木

私は、絵を描くのが、好きです。講習会がきっかけで、ワークスに来られた絵の先生に習ったパソコンで充実した絵を描きたいと思います。

カレンダーも書きたく思います。この年で教えてほしいのは、メールを習いたいと思っています。又この年いった私でもメールが出来て書けていけるかと心配しております。

自分なりの絵は描いていきたく思っております。

岩本永子

今年は変化のある年にするゾォーッ!!

笑いある時間を過ごしていきましょう。

石田

今年は、色んな事にチャレンジしていきたいです。もっと、外の活動も増やして、行きたいし、他の人とも話す事で世界が広がっていくために、準備をしています。

外に出て行くことによって、僕が変われると、思います。出来るだけその気持ちは、持っています。いっぺんには無理でも、少しずつ始めて行きます。毎日できる事なら、色んな場所へ行って試したいと、思います。

もっと外の活動を増やしたいと思っています。聖林院は行き続けようと思っています。

新しいことにも挑戦しようと思っています。

今年は、去年の終わりごろから外の作業も始めました。今年は、始めから参加したいです。

鈴木

一年間を無事に過ごすこと。

中嶋

次号詳細レポート掲載

日本自立生活センター 30 周年 車いすと仲間の会 40 周年 記念企画

第 28 回 国際障害者年連続シンポジウム

「障害者運動のバトンを次世代へどうつなぐか？」—障害者と社会のこれからを考える—

シンポジスト

尾上 浩二 (DPI 日本会議事務局長)

熊谷晋一郎 (東京大学先端科学技術研究センター特任講師)

大野 更紗 (作家)

小泉 浩子 (日本自立生活センター自立支援事業所管理者)

日 時 2014 年 3 月 2 日 (日) (10 時開場) 10:30~16:30

場 所 キャンパスプラザ京都 4 F 第 2 講義室 (JR「京都駅」烏丸中央口から西へ徒歩 3 分)

「障害者運動のバトンをどう次世代につなぐか」をテーマにしたシンポジウムを、当所とも関連のある JCIL (日本自立生活センター) 主催で行いました。

去る 3 月 2 日 (日)、下京区のキャンパスプラザ・京都で 200 名以上もの参加がありました。基調講演では、DPI 日本会議の事務局長である尾上浩二氏から、いままでの障害者運動の変遷について振り返ってお話をいただきました。午後からは、パネリストの方たちが、一つの質問に対してご自身の活動を通して語りました。その中で、障害者と自立とは何か、障害者の医療について、介護の現場における当事者と介護者間のジレンマ等、障害者の現状を浮き彫りにさせるものとなりました。車いすのおトイレ、駅のエレベーター等、普段私たちが何気なく使っているものがそう遠くない時代に私たちの先輩が障害者運動を通して整備されてきたことも、忘れてはならない過去です。障害者運動の現状を見据え、「みらい」へどう担っていくのかという「宿題」を出されたシンポジウムになりました。

「広がれワークスの輪」取材しちゃいました

思わず、いきなり!

第3回

「聖林院でいつも一緒のお花屋さん」

今回は、ワークスが定期出店している宇治は聖林院さんでお庭の手入れなどをして下さっている「花のモリシタ」さんにインタビューしました。

※文中敬省略

～いつもワークス出店のときにお世話になってます。

今日は取材させていただきます(笑)～

森下： はい、よろしくお願いします。

いい顔の写真とってや・・・。

～最初に聖林院さんで一緒するようになったのはいつからでしたか?～

森下： みんながここに出店するようになったときと同じですよ。だから2年位前かな。はじめにK君から車いすでこの庭に入れるようにしたいと聞いた時は大丈夫かなと思ったけど、入口と2ヵ所(鉄のフェンス)を切って、南天の樹を何本か抜いたらいけるかなって。

～そうなんですか、山門横とお庭上の入口は森下さんがつくってくれたんですか。ありがとうございます。ところで森下さんは、ワークスと関わるまでは、車いすの方たちと何か接点のようなものはあったんですか。～

森下： いえ、特にはなかったですよ。まあ、近所のお年寄りの方なんかは病院にいたら、おしてあげたことはありましたけど。

～ではいつもここで、車いすのみんなといろいろとお話したり、ときには手伝ってもらったりしてますけど何か意識されることありますか?～



車いすでも入れるようにフェンスを切った入口



お花のこと、いろいろ教えてくださいね。

森下： 最初は、どう手伝ったらいいか少しだけ不安みたいな気持ちはあったけど、すぐに打ち解けたから全然心配なかったです。(笑) みんなも自然な感じじゃないですか。むしろ、会うたびに「あ～腰が痛い、肩が痛い」なんていってるのはこっちの方だから(笑)。

～最後に聖林院での私たちの活動についてお聞かせください。～

森下： やっぱり、地域の関わりをつくるのも大事なことだし、お寺に人が集まってくるのはいいと思います。みなさんが毎週きてるということは、少しずつ知ってもらえるようになってきたから、これからもっとお客さん増えるんじゃないですか。今後ともよろしくお願いします。

～今日はありがとうございました。

こちらこそ、よろしくお願いします。～

森下： ありがとうございます。



インタビューを終えて

地域の「お店」が少なくなっていく今、ここ黄檗でお花屋さんとして子ども達や一人暮らしの人たちと身近に接する森下さん。私たちも一緒にそうした地域との関わりをつくれたいと思いました。

所員一同

イラスト〜ク 2014

illustralk

イラストークでは、ワークス共同作業所を中心にして創作活動に励まれている方を取り上げています。

コンピュータを駆使して、独自の表現を築こうと日々、努力し、その成果を出してきました。

今回は、岩本永子さんです。

ワークス作業所のクリエイターの中でも、当所の設立に深くかわかり、その後もいままで長年にわたり所員として創作活動に従事されてきました。

岩本さんのここがすごい！

永子さんのイラストについては、毎回拝見させていただいています。永子さんはとても力強くイラストを描いているような気がします。誰にでも負けていないぐらいに、精一杯イラストを描いている姿はとても凄いと思います。 えき田大輔

プロフィール

岩本永子（いわもとながこ）

昭和9年生まれ。画歴は約20年。ワークスに入所してから本格的にコンピュータで絵を描きはじめる。それまでに水彩画を自宅で習う。朗らかでおおらかな人柄から多くの人に慕われている。おしゃべりが大好き。

Nagako Iwamoto



毎年ずっと描いている絵を、みんなに見てもらうことを描く楽しみにして描いています。いつまで描き続けられるかわかりませんが、できるだけ続けたいと思います。

みなさん、よろしくお願いします。

岩本 永子より



イベント報告

work's フォークス

今年初めての

藤森神社手づくり市に参加しました

2013.12～2014.1

2014年の初めての、藤森神社手づくり市が19日に行われました。前日の夜から雪が降り当日の朝は隣の家にも雪が、薄く積もっていて、空から雪がちらついて降っていました。

朝の7時ごろから「どうするの」という携帯電話にかかり、テレビのdボタンで雪が降る確率を見ると20%ほどだったので、「今日は行きましょう」と言いました。藤森神社に行くと本殿の屋根は雪で真っ白で寒い日でした。ときおり雪もちらついていました。出店の方は朝の中は、ばたばたとしていましたが、お客の方もいつもより多かったです子供さんが多かったの、売上は、綿菓子と手相が主でした。

椿森 信幸



藤森神社は、今年の干支、馬の神様で知られています。

競馬関係者も多く参拝されます。

月一回、藤森神社手づくり市が開かれ、ワークスも毎回出店しています。

合同忘年会

を行いました

去る12月26日に、ワークス共同作業所とJCIL（日本自立生活センター）および自立支援事業所の合同忘年会を初めて行いました。場所は、以前BUGでも紹介した京都テルサ。参加人数は80名でした。

今回は、三つの団体から実行委員会形式で、企画しました。

会は、JCIL理事長の矢吹さんのお話で始まりました。みんな、食事をしてお酒を飲んで楽しみました。会食のほかにインドネシアの方たちによるガムランの踊りや演奏がありました。また、なぞなぞと名前ビンゴゲームもしました。



最後は「恋するフォーチュンクッキー」をみんなですべて踊って、金さんの挨拶でお開きとなりました。

松田 光博

クリスマス会 障害者スポーツセンター

去る12月22日左京区の高野にある障害者スポーツセンターでクリスマス会がありました。

体育館で開催されました。ワークスも模擬店の部門に綿菓子等の出店をしました。僕自身ははじめて参加しました。

はじめにステージでは、ブラスバンドなどの演奏がありました。リクエストも交えながら演奏してくれました。店番をしながらいろんなお店も回り、楽しみました。

鈴木 翔太



障害者スポーツセンターのクリスマス会の様子。地域の方も多く参加され、賑わっていました。

ワークスリレー・エッセイ「自立生活と私」

僕の一人暮らしについて

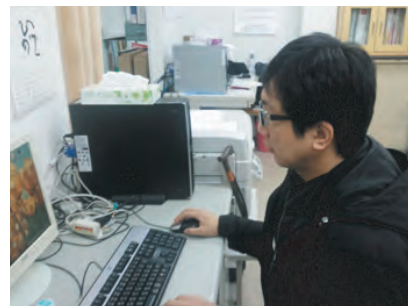
嶋田大輔（えきただいすけ）

私の私生活は、家でDVD鑑賞したり、読書したりしています。DVDでは、昔懐かしいドラマや時代劇を観ることが多く、情熱的で人情味のあるものや、感動するものが昔から好きです。鑑賞したあとは、自分のなかでいろいろイメージしてみたりします。

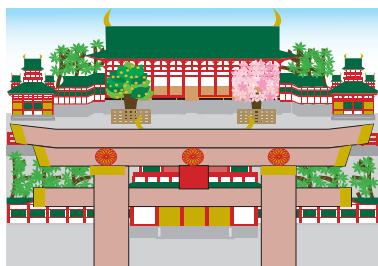
読書は、推理小説や歴史ものが好きで、読んだあとと同じようにイメージしたりします。そうしていくうちに、自分の中で勉強になったりするので、面白いです。たまに外出もします。

昔から史跡巡りやいろんな場所を歩き廻ったりしています。京都には寺や史跡が多すぎて、とても全部は廻りきれないです。ほかにいろんな場所を行ったりしていますが、面白いところや、珍しいものがいっぱいあるので、何度行っても飽きません。

私はそういった趣味が大好きなので、知り尽くすぐらいにもっと全国を廻って行きたいと思います。



京都をモチーフにした作品をこれからも作ります。



プロフィール

昭和47年生まれ。
ワークスに入所して3年目。
趣味は史跡めぐり。作業では主にカレンダーのイラスト、BUGの編集にも携わっている緻密なイラストを描くのが得意。

ルーペ八木の手相雑記考 ～運命は変えられるPart2～



新年度を迎えるにあたり、新たな気持ちで、この一年を過ごしたいものです。

そこで、「自分は運がないな・・・ダメだな」

と思っている人へ私、ルーペ八木のメッセージとして、

「運命はかわる！気持ちがかわればすべてがかわる！」

という言葉を送りたいと思います。

例えば、新しく習い事を始めたり、副業を始めたりすると、知能線が2本になったりします。

資格試験などにチャレンジしても変化します。

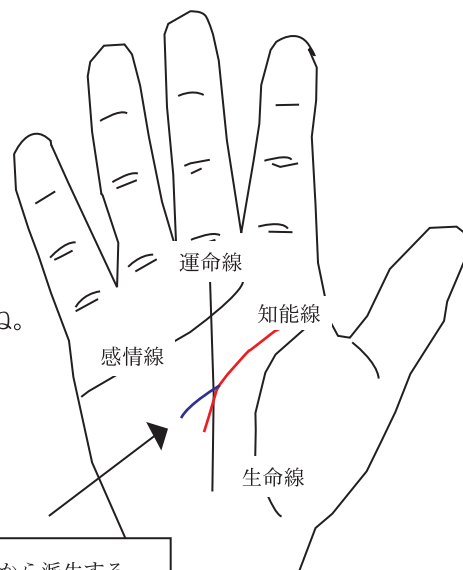
この「かわる」ということの最もわかりやすい例が知能線なんですね。

知能線に支線が出てくれば運気が変化した証拠です。

今年度、何かにチャレンジしてみませんか・・・。

次回もお楽しみに・・・。

このように知能線から派生する支線が出てくるようになります。



NAKAJIMA'S EYES

お酒

春は花を見て一献・・・。



酒は有史以前(4～5千年前)から造られていた。

日本には「口噛み酒（くちかみさけ）」という変わった醸造法があった。米などの穀物や木の実などを口に入れて噛み、それを吐き出して溜めたものを放置して造る酒のこと。

また、人為的に造る酒の発祥は「口噛み酒」という説がある。初期のクメール人の王国では、女性が醸（かも）すことから「美人酒」と呼ばれていた。

日本（大和）や台湾では、「口噛み酒」は神事の際に造られた。このため、神事で醸す場合には、原料を口で噛む人間を巫女等の「神聖視」された人から選んでいた。とか、昔、書物で読んだことがある。

醸（かも）すの語源は噛（か）むとか、黴（カビ）るから来ているとかといわれている。それは「口噛み酒」の影響だろうか、アルコール発酵を黴（カビ）ていると思ったのだろうか。

「酒」は日本では「ハレ」の日に良く飲まれる。世界で、一番アルコール度数が高いお酒はスピリタス（ポーランド）ポーランド産のウォッカ（96度）世界最強のお酒だとか。

ソ連時代には98度が造られていたということである。

日本で、一番アルコール度数が高いお酒はスピリッツ88アルコール度数：88度、原産国：日本。

日本のドーバー洋酒貿易が製造している蒸留酒。「日本でこんなに強い度数の酒を醸造している」とは思わなかった。

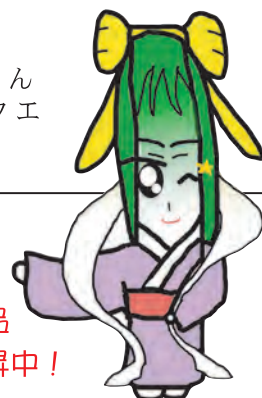
浙江省紹興市で醸造された「老酒（ラオチュウ）」は、「紹興酒（ショウコウシュ）」と呼ばれている。紹興酒は、もち米を原料に、鑒湖（かんこ）の清水を用いて醸造され、甕（カメ）に封じて3年以上熟成させた良質の醸造酒。

その他、多数。書くと長くなる。

英国では新たなビールが開発された。その名も「アルマゲドン」。アルコール度数は65%、現時点で、恐らく世界一アルコール度数の高いビールだそう。一般的なビールの場合、麦芽などの原料から煮出してできる麦汁に酵母菌を加え、低温で発酵させる。アルマゲドンの場合は、発酵の段階で麦汁を冷凍させて、「凍らないアルコールを残し、凍った水分を取り除く」という工程を踏んで、高いアルコール度数を生み出しているという。

気になる味については「驚くほど滑らか」だとか。「テキーラやウォッカのストレートを飲むような辛さが無い」と、アルマゲドンの飲みやすさを強調している。ただし、そうは言ってもアルコールが65%もある強いお酒。「ジョッキで飲むのはお勧めしない」とか。興味はあるけど、こんなの飲んだら、気を失いそう。

NAKAJIMA'S EYESでは、皆さんからの感想や、テーマのリクエストを募集しております。



手づくり市であいましょう。 ——— ワークスは、皆さんのまちにいきます。

毎月8日・・・ほていまつり（宇治・黄檗山萬福寺）

毎週火曜日（午後1時～）/8日/24日・・・宇治・黄檗山聖林院・

毎月第三日曜・・・京都・藤森神社（※開催日変更有り）

**オリジナル商品
占いも人気上昇中！**

あしあと — 2013年11月～2014年2月21日 —

- 11月22日 (金) 畑
11月24日 (日) 石切手作り市参加、聖林院法要
11月29日 (金) 健康講座(松の間)、田中先生「インフルエンザ対策」
12月03日 (火) P C講習会精華町(フォローアップ)、
12月06日 (金) バナナ(寄贈)
12月08日 (日) ほていまつり
12月10日 (火) 見学「世界のバリアフリー絵本展」佛教大学紫野キャンパス
12月15日 (日) 藤森神社手作り市
12月22日 (日) 京都市身体障害者スポーツセンタークリスマス会出店
12月24日 (火) 聖林院法要
12月26日 (木) JCIL、事業所、ワークス合同忘年会 (京都テルサ)
12月27日 (金) 田中ドクター訪問
12月27日 (金) 仕事納め
12月28日 (土) 年末年始休暇 → 1月5日 (日)
01月06日 (月) 仕事始め
01月08日 (水) ほていまつり、野菜&パンを販売
01月20日 (日) 藤森神社手作り市、綿菓子、カレンダーを販売。極寒、吹雪
01月24日 (金) 田中先生プチ健康講座「ノロウイルスについて」、聖林院法要
01月31日 (金) ワークス新年親睦会 (多文化交流ネットワークセンター)
02月21日 (金) 健康講座(松の間)、田中先生「花粉、アレルギーについて」

編集後記

今回のバグも大した力にはなれなくて申し訳ない気持ちで一杯です。新しい1年が始まり、気持ちも新たな気持ちで今後のバグに関わっていきたいです。ワークスと皆様にとり今年1年が良い年であることを願い、また今年1年皆様があげてくれた抱負通りになれば良いと思います。
(少し文句垂れ増)

今回もいろいろとお手伝いをさせていただき、光栄です。やりがいがあり、楽しかったです。また、お手伝いをさせていただきたいと思っています。
(D・E)

team BUG

3,11に障害者差別禁止の条例が京都府に通りました。良かったです。
(M・M)

水も温む頃になりました。皆様いかがお過ごしですか。秋から冬にかけて、いままで出かけることも難しかった車いすユーザーの人にとってこれからは楽しみの多い季節になりますね。

(Demi.N)

姫のつれづれ日記 それゆけ九条ネギ姫 demi

